

各位

2014年2月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成25年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比96.5%と僅かに下回ったものの、学生団体は同131.9%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同112.8%と前年を大きく上回った。企画旅行については、東アジア方面を中心として苦戦したものの、前年比98.3%と微減にとどまった。個人旅行については前年比91.7%であった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比100.7%と、前年と同水準であった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比89.4%であったものの、学生団体は同108.0%と前年を上回り、団体旅行合計では同98.9%と前年を僅かに下回った。企画旅行については同110.7%と前年を大きく上回り、個人旅行についても同108.2%と前年を大幅に上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、106.7%と前年を大きく上回った。

外国人旅行は、前年比129.3%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は前年比105.7%となり、前年を上回る結果であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は円安の影響を受けつつも前年比102.2%と前年を上回り、学生団体については修学旅行および修学旅行以外の団体の取扱い増加により同131.9%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で同116.5%と前年から大きく伸長した。

国内団体については、一般団体は前年をやや下回ったものの、学生団体が前年を上回った結果、国内団体旅行合計で前年比99.0%とほぼ前年と同水準であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比104.5%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、引き続き伊勢志摩、中国四国、首都圏方面が好調を維持しているのに加え、東北、九州、沖縄方面も好調であった。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、SITを中心として好調に推移し、取扱額で前年比118.7%と前年を大きく上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、伊勢と出雲方面をはじめとして好調であり同114.6%と前年を大きく上回った。バス旅行部門も伊勢・出雲方面の商品や東京発の日帰り商品等が好調で、同124.2%と、前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、ウォーキング商品や貸切公演をはじめとして好調であり、同118.1%と大きく伸長した。

以上